

中国の首都・北京市に 認知症特化型施設 第1号店をオープン！！



株式会社ニチイ学館（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森信介）の子会社である日医恒基（北京）健康産業有限公司（以下、日医恒基）と、日医（北京）居家养老服务有限公司（以下、日医北京）は共同運営する認知症特化型施設を、12月18日、北京市内にオープンいたしました。

中国では高齢化の進行に伴い、認知症患者数も増加傾向にあり、今後ますます認知症に対するサービスニーズは高まるものと推測されます。

このような中、既存の自立者向け養老施設の1フロアを運営受託し、認知症特化型施設第1号店を「逸雲院 北京朝陽（イツウンイン ペキンチョウヨウ）」の名称にてオープンいたしました。

「逸雲院（イツウンイン）」は中国の故事に由来した認知症特化型施設のブランド名であり、今後日医恒基が運営に関わる全ての施設を同ブランド名にて展開してまいります。

サービス提供にあたっては、これまで日本で培ったグループホームの運営ノウハウと経験を活かし、日医北京が展開する介護の専門研修を受け、認知症の症状を正しく理解したスタッフが、一人ひとりに寄り添ったケアを実践いたします。

また、現場リーダーには、当社グループホームでの実習経験と日本の看護師資格を持つ現地人材を配置。施設長は、当社の有料老人ホーム「ニチイのきらめき」で施設長経験を持つ日本人が担います。

この施設を日本式介護施設のフラッグシップの1つとして位置づけ、当社が目指す「三優」（優れた人材・優れたサービス・優れた用品）を具現化し、日式介護を可視化する「モデル施設」として、政府関係者等にも見学していただき、在宅での訪問介護サービスの理解促進に繋げてまいります。

当社は、当施設を皮切りに、中国各地にて認知症特化型施設の運営受託に向けて準備を進めております。今後も、介護先進国日本のリーディングカンパニーとして、中国の高齢社会を支えるインフラ基盤の構築、及び雇用創出、内需産業の拡大に貢献することを使命とし、中国での事業を推進してまいります。

<「逸雲院 北京朝陽」の概要>

| | |
|------|------------------------------|
| 開所日 | 2017年12月18日（月） |
| 所在地 | 北京市朝陽区豆各庄於家園南隊臨6号（健生養老院北棟4F） |
| 居室数 | 23室（全個室23床） |
| 入居料金 | 月額25,000元～（食費、管理費等は別途） |

◆◆◆本件に関するお問い合わせ先◆◆◆

株式会社ニチイ学館 経営管理本部 広報部（担当：植野）[tel] 03-3291-3954 [e-mail] kouhouka@nichiigakkan.co.jp